



北海道方面

十勝日高連絡道路實地調査

十勝の御影と日高の右左府を結ぶ日高連絡道路の開鑿實現促進運動の爲御影右左府兩村を中心として道廳並に浦河、河西兩支廳、室蘭帶廣兩土木事務所、浦河營林區署等の各幹部より成る實地調査委員一行は、矢野道議、道廳島藤技師、福山室蘭土木所長、高田帶廣土木所長、菅谷浦河營林區署長、帶廣土木事務所藤田、柳田兩技

手赤根浦河支廳二課長、瀬田浦河營林區署技手、荒木室蘭土木事務所技手、淵上、松浦兩右左府村議、櫻岡右左府村書記、笠川御影村長、山崎、北澤兩兩書記、藤枝同商工會頭、坪井、村瀬兩村議、日夏、傳寶、竹田、佐藤

等の各有志並に中野(楡新)村形(十勝毎日)千葉(同寫眞班)鈴木(十勝)岩岡(北海)の記者團と人夫十六名合計四十四名で川渡前後三日間に互り踏査を續けたが下流に降るに従ひ水害が増加するに加へて刈分け道路も既に盡きて全然采路の地帯に入つ

たので丈な熊笹と果々たる苔むす岩石、天そより立つ針葉樹の密林に前進を阻まれて愈々難行となり一行は遂に三々伍々隊形を亂すに至り負傷者、發病者等も現れ或は再び露營を繰返さねばならぬのではあるまいかとも思はれたが右左府青年團多數の出迎へによつて大いに力附げられ元氣を恢復し午後五時健脚を誇る松浦、淵上兩沙流村議と記者の三名を先頭として午後九時三十分迄には全員宿舎である千呂露驛遷に到着し佐藤村長以下各有志の村を擧げての至り盡せりの歡待に一行は何れも疲れを忘れて夜半まで歡談に過ごし一泊、九日午前八時自動車、馬車等で迎られ右左府市街に到着し直に同市小學校で開催された村役場主催に係る道路開鑿問題を中心とする村民大會に出席し村民の切なる開鑿翹望の聲に耳を傾け互に相提携してその實現に邁進することを誓約した

道路改良促進宣傳映畫

道路改良會北海道支部主催のもとに八月二十四日より五日間左記の如く活動寫眞會を開催することになつた

▲俱知安(二十四日)▲前田(二十五日)▲發足(二十六日)▲岩内(二十七日)

道路功勞者表彰傳達式 豫て道路改良會本部より表彰せられたる道路功勞者山本榮作氏の表彰傳達式は二十四日午後三時俱知安町會議事堂に於て施行された

東北方面

十和田湖畔道路改修進捗

十和田湖八甲田山一帶の國立公園候補地指定運動は縣及び營林局に於ても國立公園として恥しからざる施設をなすべく夫々計畫を進めつゝあるが縣としては先づ十和田湖畔及び青森から酸ヶ湯八甲田山を経て燒山に至る道路に改修を加へて自由に自動車を手ラライ出来る様にする事が先決問題で

もありまだ目下青森より酸ヶ湯に至る縣道路改修の測量中であり湖畔、子ノ口、宇楯部間は有効幅員三間約一里の道路開鑿を進行中にして毎日二百餘名の村民も出動應援し紅葉季以前に竣工の見込みである。

青根温泉道路工事完成

青根温泉に至る縣道工事は此の程竣成し山間の道路としては群馬縣榛名山上のドライブウエー又は長野縣千ヶ瀧のドライブウエー等にも比すべき堂々六間幅の大道路完成し浴客の數既に倍加するの盛況を見るに至つたので青根小學校分教場の落成を兼ね盛大なる祝賀會を開き不景氣風を吹き飛ばす準備中なりといふ。

仙臺市南方道路鋪裝工事

市電清水小路終點荒町より國道筋廣瀬橋まで鋪裝工事を施行する計畫で縣は本年度豫算に之を見込んでゐるが地元の寄附負擔

が纏まらないので見合せたところ、最近關係各町が奮發し鋪裝施行を熱望し寄附を提手することになつたので縣は近く工事に着手する筈、たゞ南材木町以南は未だ下水道を敷設しないので差當り南材六郷橋まで施行するが工費は四萬九千六百六十五圓内半額は縣費残る半額は二分して市と地元において寄附するものである。

道路及橋梁改築の爲めに私財三十萬を提供す

陸前國志田郡鹿島臺村から涌谷に通ずる道路は、約三里半あるが、この程志田郡南郷村の富豪野田信一氏が私財三十萬圓を投じて別に新道開鑿の計畫を立て、着々準備を急いでゐる、新道は幅三間半の直線コースで、縣道よりも一里餘短縮されるわけだが、これがため鳴瀬川に新に架橋を設ければならぬので二十萬圓のうち、十四萬圓をこれに振り向けることになり、縣に依頼した設

計も既に出来、鐵筋コンクリートの堂々たる近代式架橋であるが道路測量の方も最早完了したのでいよいよ工事に着手する段取りになつた、既に木間塚橋の架け替へが完成し、佐沼、石卷方面への交通路が立派になり、新にこの架橋によつて涌谷方面への交通が開かれることゝて、縣下の模範村鹿島臺村の將來の發展は非常に期待されてゐる。

信 越 方 面

渡舟連絡の危難を除く爲め

斷然架橋運動を起す

新潟市と松ヶ崎とは現在河幅五百間の阿賀の川を渡船で連絡を取つてゐたが風雨その他危険が伴ふので不便を感じてゐた處新潟市の發展につれ山ノ下から松ヶ崎に通ずる自動車道路も開設され橋を架けることの議が起り數回に亘り協議され遊覽會社等に

も交渉を試みる等奔走し舊萬代橋の廢物を利用して橋を架けることになつてゐたがこれではあまりに不完全なところから工費八萬圓を投じ新しく架設することになつた併し差詰め金の問題で同村では村の共有地稻荷神社附近の土地十萬坪を賣却することを協議し二十一日村長吉田良吉氏外數名は出縣し縣の了解を得たので近く橋の入札を行ひ本年中に着工來年早々竣工する筈である同村では稻荷神社附近一帯を公園地となし温泉場を設置する計畫で新潟市の都市計畫が完備すれば松ヶ崎は市の郊外となるのである事業家方面からも注目されてゐる

東谷橋架橋工事竣成

新潟縣東春中部を西下せる庄内川、高藏寺町より志段味村を経て守山町、旭村方面へ通ずる東谷橋は昨年八月十六日の大洪水に流失しその後渡船を以て辛うじて交通を支へる状態であるが同地は東春中部の交

通頻繁な箇所にて橋梁なくては不便容易ならざる場所としてその後志段味村方面の有力者達は之が再架設に寢食を忘れて努力した結果本年三月二十九日付で經費四千五百圓を以て架設するの許可を得たので直ちに四月初旬起工し着々として工事は進捗され近日大部分の木渡しはでき上つたが今度の橋梁は全長八十二間餘幅員八尺で重量二トンの運搬ができ、從來の六十五間(全長)六尺(幅員)よりはるかに改良されて居る

商業街路は八間以上

實現を決議

信州岡谷では修路必要の新路線五箇所を選定して失業救済事業を起すこととなり目下總代が奔走中であるが更に先年來提唱されて來た岡谷局より中央通り郵便局迄延長二百二十間の直通道路も此の際開鑿してはとの説濃厚となつたが其道路は道幅八間位に廣く取り人道車道を分け道の兩側を商店

街とすれば本町通りと中央通りの連絡が取れる上に商業地として重要な銀座街を現出し又將來區畫整理を爲す上にも好都合であるから是非とも實現の希望を以て過般林代議士より正式に區へ申込み三十餘名會合の席上區でも是に向つて善處する旨を答へたので目下調査中である。

本 州 中 部

岐阜大垣間新道計畫

岐阜縣當局では現下の經濟界不況による失業者續出の對策として失業救濟事業を起すことに決し鵜澤岐阜縣知事及び安井庶務課長大藏省内務省及び社會局の關係方面に諒解を求めてゐたが内務省方面にても大體その計畫を是認する模様であるので縣當局も近く具體案を作成し臨時縣會に提出する意向である。

而してその失業救濟事業の具體的内容は

昭和五、六、七の三箇年繼續として岐阜、大垣兩市間に四間幅員道路を新設するも

ので總工費三百九十萬圓を要する豫定であるがその財源は百三十三萬圓は國庫補助に求め某電鐵會社に百六十五萬圓を負擔せしめ更に岐阜市で二十萬圓、大垣市で十萬圓を負擔し結局縣の起債額は約八十萬圓となるはずである。

郡部道路の大改修計畫

愛知縣當局においては縣施行の失業救濟事業として百數十萬圓を總工費として郡部道路改修を行ふ豫定であるが右は縣の六千萬圓の繼續事業中の一部施行をなすものである、縣の當初計畫によれば本年度は起債をせぬ方針であつたが失業救濟事業は急施を要するので今回にはかに百數十萬圓を全額起債のもとに道路改修を行ふこととし目下内務省および社會局の諒解を求めてゐるが近く正式に總工費全額起債認可の申請を

内務、大藏兩省宛提出するものとみられてゐる。

岩倉大山線村道の改修

愛知縣丹羽郡岩倉町大字八劍地内を貫通する岩倉大山線町村道はこの程縣からも補助金が下附されたので工費四千餘圓を以て着々進捗中である。

失業者の救濟は道路工事

第一に決す

瀬戸市では全然仕事のないといふ失業者は殆どないが時節柄仕事に切れて困るといふ者があるのでこれが救濟につき市當局においても考究中であつたが道路工事起業を第一とし縣當局と交渉の結果道路修繕費として一萬二三千圓を交附される事となり近く工事に取掛かる事となつたから失業者救濟をいよゝ實現される事となつた。

不景氣受難の方向轉換

緊縮時代の受難！豫算の大斧鉞にあつて

手尾をもぎとられるかと思はれた一宮市今年度の土木事業は、うまいところへ方向轉換策を試みた、即ち敷地買収地上物件移轉費に多額の経費を要する市街地線は後廻しとして経費のいらぬ耕地整理地区内の道路開鑿に目星をつけたこと、早くも市道長良線がトツプを切つた。

次で東郊印田縣道から常光墓地に接続する印田一號線も砂利敷工事を残すだけとなり、四ツ峰東一號線、下沼線、宮川町線、杉戸、下町、中小島ほか四線は、各々計畫を樹立して一部は地上物件移轉交渉中で、完成の曉は市外聯絡線の大整備ができることになつた。

岡崎—多治見間國營バスと道路

名古屋鐵道局管内の國營バス線、岡崎を起點とし舉母、瀬戸經由高藏寺に至るものと瀬戸より分岐し多治見に至る試運轉は丁

GE及びブスマダ中型にて黒河内建設局長以下實地視察を了せるが途中路幅狹隘の箇所甚だ危険と認むる箇所あり殊に從來營業繼續中のバスは信濃運輸、長繩、三河鐵道等の四乗合を有し爲めに大型バスの運轉困難の箇所尠からざれば愛知縣と協議局部改修を考慮中なりといふ。

近畿方面

木津川運河に架橋計畫

大阪市外木津川國際飛行場は開設以來すでに三年、定期航空路開始以來一年有餘の日時が経つが、市内から飛行場へ行くのは電車、自動車で飛行場から一哩も離れた木津川運河まで行き運河を渡船で渡つて徒歩で行くはかなく、スピード時代に適しないので航空局、日本空輸會社、遞信局、大阪市役所等の關係者はいろいろ、研究中であつたがその結果大阪市では同所にバスチ

ール式開閉橋(長さ四十間、幅八間)を架けることになつた。

しかし開閉橋でも大きな船は木津川沿岸にある各造船所に行くことは相當困難になるのでまづその前提として大阪築港木津川尻の防波堤を切取つて、大船は木津川本流から運行させることとし去月末から大阪市港灣部で防波堤の切取り作業を始めたが今年中には完成する見込でその

上て架橋工事にかゝる筈で、來春からは市内から飛行場へはもとより船町にある各工場へも非常に便利になるわけである

森林開發道路と山村救済

不景氣の旋風に見舞はれ極度の悲運に泣きつゝある紀州南半の山林業者救済に力を注ぎたる友部前知事は和歌山縣熊野地方の山村救済の必要なるは政府も之を認め大藏省より森林組合に低利資金を五萬圓融通されることとなつた、それに國庫や縣費の補

助と昨年度の繰越金を合せて約二十三萬圓で森林道路を開設し山村の失業者も相當救済されまた林業者將來の利便も多大なものであらうと。

中國方面

縣道編入路線決定

廣島縣會に於て前年度決議の縣道編入四十五路線の内海熊野線外十八線は愈々縣道編入に決定し二十日附縣報告示を以て發表されたが、尙ほ三和廿日市線外四線は經過地等につき幾分の變更を行つた。

國道敷設改良促進決議

周防國防府町に於ては松崎小學校に町繁榮協議會を開き地勢上町發展上國道敷設の速成と佐渡川堤防櫻樹保勝會を設け觀衆誘引設備等を満場一致で決議し準備委員三十五名を選擧し更に幹事五名を選び著々運動を開始し交通の改善と地方の發展に盡力す

る事となつた。

下ノ關商工會議所交通部會

下ノ關商工會議所交通部會は總會を召集し今回左の決議をした

- 一 下ノ關安岡間道路の改修を速成すること
- 一 縣道中特に豊前田町より西南部町に至る道路を改修すること
- 一 竹崎町鐵道沿線道路の擴張を促進すること

九州方面

八幡市の惡道改修促進

福岡縣八幡市内の道路は自動車交通増加と共に年々凹凸泥濘の度を増し歩行車行共に困難を感ずるに至りたれば岡師市長は其大改良計畫を樹立し今年度は差當り一萬圓、明年度七萬圓、明後年七萬圓を以て改修及主要道路の舗裝をすることになつた。

山國橋架替調査

大分縣中津から福岡縣築上郡東吉富村に通ずる縣境に架設の山國橋はその後架替問題に就き兩縣當局の緩慢なる局部的修理に關し地元中津市並に福岡縣東吉富村では由々敷重要な事柄であるとし輿論は極度に沸騰し當局は非難的となつて居るが徹底的架替に就ては幾分の犠牲は拂つてもとの意氣込みで陳情貫徹に力めたので福岡縣よりは坂本土木課長、大分縣よりは土肥土木課長實地調査に出張することになつた。

橘橋順調に進捗

宮崎市橘橋工事は前後三回の出水に遭遇したけれども幸ひに大なる障害も蒙らず著々其の進捗を見て居るが係員等は二百十日の厄日を控へて居る事とて警戒して居る。